

## 令和4年度事業計画書

### [1] 学術講演会・研究会および講習会等の開催事業（公益目的事業1）

#### 1. 学術講演会の開催

##### ・第118回学術講演会

開催日 令和4年11月10日、11日

場 所 出島メッセ長崎（長崎市）

参加予定者数 約600名

#### 2. 特別シンポジウムの開催

##### ・第25回特別シンポジウムを行う。

[テーマ：食品衛生に関わる最新の動向（仮）]

開催日 令和5年2月14日

場 所 中央区立日本橋公会堂

##### ・ブロックイベントを行う予定。

農薬リスクコミュニケーションの公開セミナーを2回開催予定。

（厚労省の入札事業なので、通った場合に行う） 入札4月頃に行う予定

[テーマ：残留農薬のリスク管理の動向と食品安全を支える微生物検査]

開催日 令和4年6月6日（月）

場 所 中央区立日本橋公会堂

#### 3. 公開講演会

##### ・令和4年度公開講演会は行わない

#### 4. 関連学（協）会との連携および協力

##### ・日本食品衛生学会・日本食品微生物学会・日本食品化学学会主催

「ifia JAPAN 2022 食の安全・科学フォーラム 第21回セミナー&国際シンポジウム」

を下記のとおり行う。

開催日 令和4年5月18日

場 所 東京ビックサイト

内 容 食品添加物の国際整合性と食品の表示

##### ・関連学会等との共催、協賛および後援を行う

### [2] 学会誌等の発行（公益目的事業2）

##### ・学会誌等を下記のとおり発行する。

食品衛生学雑誌（6冊）

第62巻2号～6号

各発行部数 1,900部

第 63 卷 1 号

発行部数 1,950 部

食品・食品添加物等規格基準（抄）

発行部数 1,000 部

第 118 回学術講演会要旨集

発行部数 1,000 部

- ・下記のリスクコミュニケーション事業を行う

（厚労省の入札事業なので、通った場合に行う）入札 4 月頃に行う予定

残留農薬等のデータベース等の作成、更新

リスクコミュニケーションリーフレットの作成

リスクコミュニケーション動画の作成

### 〔3〕 研究業績に対する表彰事業（公益目的事業 3）

- ・令和 4 年度日本食品衛生学会賞等授賞式を第 118 回学術講演会において下記のとおり行う。

「学会賞受賞者」

藤川 浩（東京農工大学（名誉教授））「食品における有害微生物の挙動と汚染に関する数学及び統計学的解析」

「学術貢献賞受賞者」

朝倉 宏（国立医薬品食品衛生研究所）「カンピロバクターの汚染動態と遺伝性状に基づく制御に向けた研究」

石井 里枝（埼玉県衛生研究所）「食品中の残留有害物質の分析法開発と信頼性確保に関する研究」

「奨励賞受賞者」

大場 由実（東京都健康安全研究センター）「畜産および加工品中の抗ウイルス薬をはじめとする動物用医薬品の迅速分析法の開発とその応用」

大門 拓実（越谷市保健所）「LC-MS/MS および三層分離抽出技術を用いた食品危害物質の迅速分析法の開発に関する研究」

- ・食品衛生学雑誌第 62 巻論文賞授賞式を第 118 回学術講演会において下記のとおり行う。

「乳・乳製品の加熱履歴の簡易迅速確認法の確立 <報文>」 第 62 巻第 2 号 p. 44～50 加登麻子<sup>1</sup> 遠藤明仁<sup>\*1</sup> 柳澤成江<sup>1</sup> 田中寿一<sup>1</sup> 市川真里<sup>2</sup> 柴崎鮎美<sup>2</sup> 川井泰<sup>2</sup> 増田哲也<sup>2</sup> <sup>1</sup>農林水産省動物検疫所 <sup>2</sup>日本大学

「相対モル感度に基づくシングルリファレンス GC 法および HPLC 法によるカラシ抽出物およびセイヨウワサビ抽出物中のイソチオシアン酸アリの定量 <報文>」 第 62 巻第 3 号 p. 73～78 増本直子 西崎雄三<sup>\*</sup> 中島馨 杉本直樹 佐藤恭子 国立医薬

品食品衛生研究所

「ケーススタディ：ゆでめん製造工場における PDCA サイクルによる微生物の分布と汚染源の特定 <報文>」第 62 巻第 3 号 p. 79～84 大八木 伸\*<sup>1</sup> 盛田隆行<sup>1</sup> 小西良子<sup>2</sup> <sup>1</sup>セッツ株式会社 <sup>2</sup>東京農業大学

〔4〕若手研究者育成事業（公益目的事業 4）

- ・令和 4 年度厚生労働科学研究（食品の安全確保推進研究事業）の若手研究者育成事業の公募に応募し採用された場合、補助事業者として若手研究者を採用する。

〔5〕その他

- ・会員の相互扶助事業については令和 2 年度から事業を開始し、下記の内容で実施する。
  1. 会員限定「学術小集会：FHS コミュニティ」  
年数回の開催を目標とする。
  2. 会員限定のメルマガを配信する。月 2 回配信
  3. 論文作成に関する相談会を開催する。

〔6〕総会・理事会の開催

- ・令和 4 年度総会を下記のとおり行う。

開催日 令和 4 年 6 月 6 日

場 所 中央区立日本橋公会堂（東京都中央区）同時 WEB 会議

議 案 令和 3 年度事業報告および同決算報告

- ・4 月、10 月、2 月に理事会を行う。